



特集

「男は仕事、女は家庭」?

～男女共同参画社会の実現を目指して～ 『土岐市男女共同参画プラン』仮称 を策定中

「男は仕事、女は家庭」に代表される男女の固定的な性別役割分担の意識を解消し、性別にかかわらず一人の人間として尊重される社会を築き上げていくことが大切ではないでしょうか。

今、土岐市では、男女共同参画社会のあるべき姿を明らかにし、国や県の計画と照らし合わせて、土岐市にふさわしい取り組みをするため、「土岐市男女共同参画プラン（仮称）」を策定しています。

ここでは、男女共同参画の必要性を考えるとともに、本市の取り組みなどを紹介します。


**男女共同参画の
意味と必要性**

男女共同参画とは？

「だんじょきょうどうさんかく」、ちょっと難しい言葉ですね。

私たちが目指す男女共同参画社会とは、「男女が対等な立場で、社会のあらゆる分野（家庭・学校・職場・地域など）へ共に参画し、責任を分かち合う社会」です。

なぜ必要なの？

私たちは今、少子・高齢化や経済・産業の国際化など、社会環境の変革に直面しています。

こうした状況に対応し、活力のある社会を築き上げるため、家庭・学校・職場・地域で、男女それぞれの個性と能力を發揮できるように社会づくりが必要となっています。


**データから見る
日本の現状**

出生率の現状

少子・高齢化によって、日本の人口は二〇〇六年をピークとして急速に減少するといわれています。

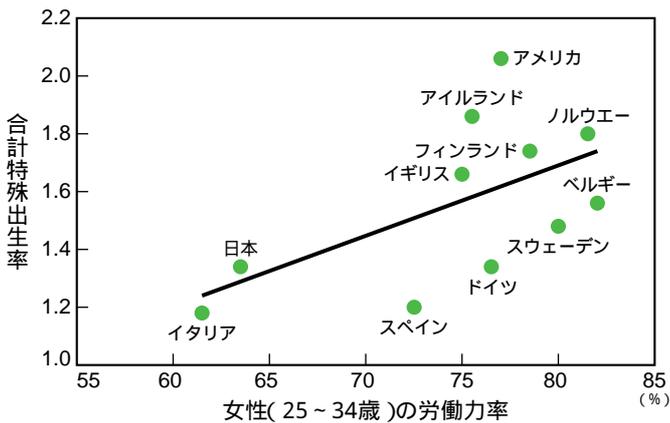
日本の出生率（正確には合計特殊出生率といいますが）は、一九七〇年代前半までは二・一程度であったものが、七五年に二・〇を割り込んだ後は、ほぼ一貫して減少傾向にあり、二〇〇二年には一・三二にまで落ち込んでいます。出生率減少の背景には、不景気による経済的な理由などとともに、仕事と子育ての両立が難しい社会状況があると考えられないでしょうか。

合計特殊出生率：女性の年齢別の出生率を合計したものの女性一人当たりの平均子ども数を表します。



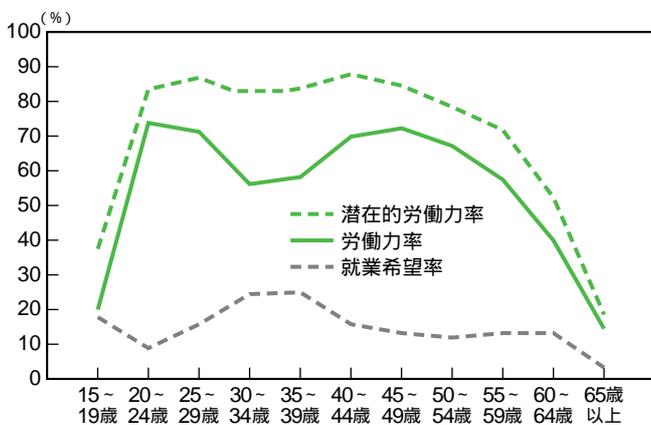
データ

女性(25~34歳)の労働力率と出生率の国際比較



データ

女性の年齢階級別潜在的労働力率



注1：総務庁「労働力調査特別調査」(平成12年8月)により作成。
注2：潜在的労働力率は労働力人口に就業希望者を足したものを、15歳以上人口で除し、100をかけた値。

女性の労働力率…ここでは二十五〜三十四歳の女性人口に占めるその年代の女性労働者人口(就業者+完全失業者)の割合のことを意味します。

女性の労働力と出生率の国際比較



女性の年齢階級別潜在的労働力率

次に、女性の労働力率に関して年齢階級別にまとめたデータ

以上のことから、仕事と子育ての両立支援策を進めることは、少子化対策にもつながると考えることができます。

「タを見てみましょう」(データ 参照)。
女性の労働力率は、結婚、出産、子育て期に低下しM字型になりますが、女性の潜在的労働力率を見るとM字型になっておらず、就業希望はあるものの実現していないことがわかります。

次頁に続く

同感! へえっ?! あなたはどう思うクイズ

その 土岐市内の人に、自分に介護が必要となったとき、誰に面倒を見てもらいたいかを聞いたところ、「配偶者」(夫)と答えた人は女性のうちの29.3%でした。では、同じく「配偶者」(妻)と答えた人が、男性のうちに占める割合は何%?
ア .34.8% イ .54.8% ウ .64.8%

その 共働き家庭における家事などの協力についての問題です。共働き家庭で女性が家事・介護・看護・育児をする時間は、1日平均3時間37分。では、同じ家庭の男性が分担する時間は?
【参考】妻が専業主婦の家庭での男性は、1日平均18分です。
ア 14分 イ 44分 ウ 1時間14分

その 男女の役割分担について、岐阜県内の20歳台男性に聞きました。「女は仕事、男は家庭でもいい」と答えた人は何%?
【参考】20歳台女性に聞いたところ、6.0%の人が「女は仕事、男は家庭でもいい」と答えました。
ア .9.9% イ 10.9% ウ 20.9%

クイズの答え

…ウ .64.8%(子どもと答えたのは6.4%)
…ア .14分 (平成13年社会生活基本調査より)
…ウ .20.9%(5年前の調査から倍増)

あなたは何問正解しましたか?



国の取り組み

男女共同参画基本法

国は、男女共同参画社会の形成を進めるため、平成十一年六月に、男女共同参画基本法という法律を作りました。この法律は、男女共同参画社会の形成は、国や地方公共団体（県や市）だけでなく、国民の責務でもあるとしています。

岐阜県の取り組み

岐阜県は、昭和六十一年に「岐阜県婦人行動計画」、平成六年に「女と男のはあもにいプラン」を、平成十一年には「ぎふ男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画の推進事業を進め、さらに昨年十一月に条例を制定しました。

土岐市の取り組み

具体的に動き出しています

市も、これまで個別に事業推進を検討していましたが、昨年四月に専門部署（男女共同参画推進係）を設置し、市の総合的推進計画「土岐市男女共同参画プラン（仮称）」を策定するため、次のような取り組みをしています。

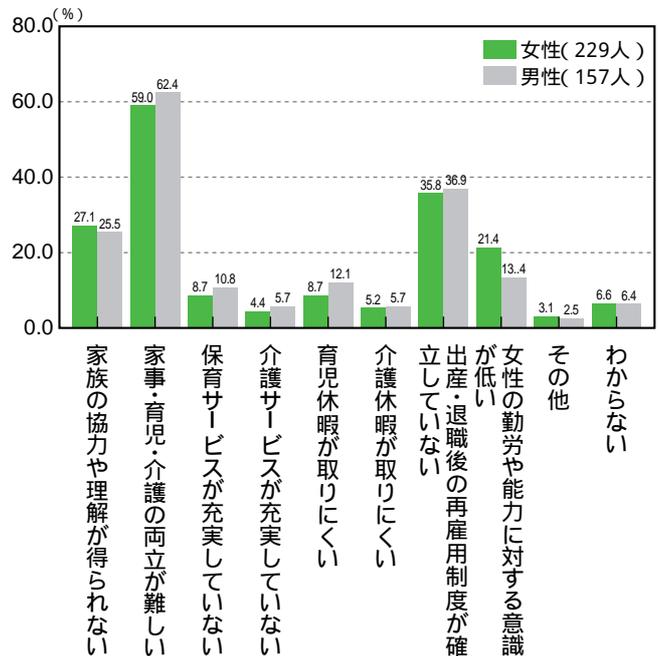
- ・ 事業推進のための庁内体制整備
- ・ プラン策定のための市民アンケート・データ
- ・ 参照
 - ・ 学識経験者、市民委員（一般公募）、関係機関
 - ・ 代表による男女共同参画懇話会の設置・開催
 - ・ 市職員幹部向けの研修会

H15年7月実施の市民アンケートより

データ

女性が働きにくい理由

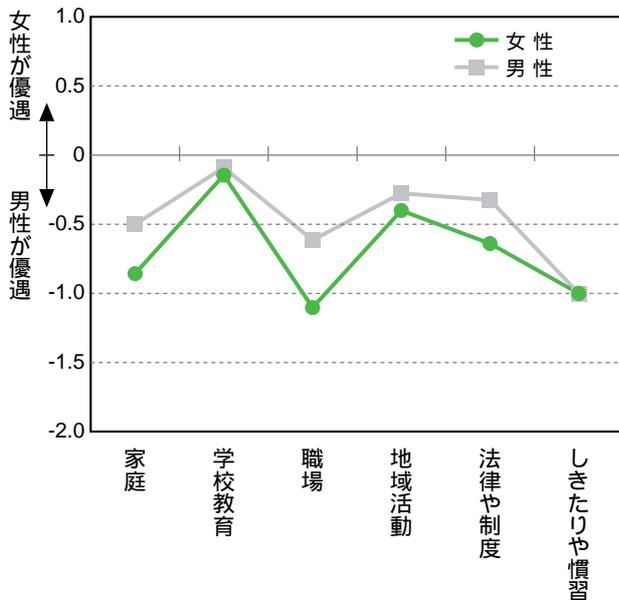
男女を通して「家事・育児・介護の両立が難しい」と考える人が多く、次いで「出産・退職後の再雇用制度が確立していない」が多いという結果になっています。



データ

男女の平等意識について

男女を通して「男性が優遇されている」という意識があり、特に女性にその傾向が強く表れています。分野別では、学校教育については比較的平等と認識され、男女の意識差も少なくなっています。



平均ポイント表示：各分野の男女平等について、「平等」を±0ポイントとして、男性が優遇されていると感じるものは「マイナスポイント」、女性が優遇されていると感じるものには「プラスポイント」を加算。その平均点で表示。

男女が共に生き活きる講演会 『人生を輝かせるために』

～分かち合う仕事・育児・介護～

入場
無料

とき 3月14日(日)午後2時～

ところ セラトピア土岐・3階大会議室

お年寄りも若者も、大人も子どもも、男も女も、誰もが生き活きと暮らし、未来には明るい希望が…。

そんな理想の人生を実現するヒントを見つけてください。

講師 高橋ますみ氏
(NPO法人ウイン女性企画代表理事・土岐市男女共同参画懇話会会長)



託児サービスをご希望の方は、3月5日までに総合政策課男女共同参画推進係(内線212)へ。



懇話会の様子

土岐市男女共同参画懇話会

土岐市男女共同参画懇話会委員 敬称略

| 委員名 | 役職・所属 |
|--------|---------------|
| 高橋ますみ | 会長・学識経験者 |
| 後藤 東一 | 副会長・小中学校校長会会長 |
| 糸井川政直 | 公共職業安定所 |
| 稲葉世紀子 | 公募市民委員 |
| 内山光男 | 公募市民委員 |
| 小栗奈津子 | 人権擁護委員 |
| 小木曾満智子 | 民生委員、児童委員 |
| 柘植理恵子 | 土岐市生活学校 |
| 水野貴夫 | 土岐青年会議所 |
| 渡邊 隆 | 公募市民委員 |

平成十五年八月、土岐市の男女共同参画の推進と基本計画策定に関する助言を目的に、学識経験者・市民委員(一般公募)・関係機関代表などの十人で構成する「土岐市男女共同参画懇話会」(メンバーは別表の通り)を発足しました。

八月以降五回の会議の中で、市民アンケートを基にした現状分析や事業推進へのアイデアなど、活発な議論が交わさ

れました。

このような取り組みを進めながら、現在はプラン策定の最終段階に入っています。

また、市民の皆さんにこの問題について、もっと身近に考えていただく機会を提供す

るため、三月十四日(日)には講演会を企画しています。

市では、本市にふさわしい男女共同参画社会の実現を目指して、これからもさまざまな取り組みをしていきます。

男女共同参画に関するお問い合わせは、総合政策課男女共同参画推進係(内線212)へどうぞ。

「男女平等!」

土岐市男女共同参画懇話会
副会長 後藤東一さん
(土岐津中学校校長)



学校では、男女分け隔てなく教育活動を展開していますので「男女共同参画」と言われても何を今さらと思いましたが。

ぶらい点があります。アンケートの結果でも、年齢が高くなるにつれて、私と同じような傾向がうかがわれます。

でも、この懇話会で「男女共同参画」にかかわるさまざまな資料が提供されると、改めて男女平等について考えさせられました。

ですから、懇話会で「男女共同参画」について考えを交流しあっても、突っ込んで質問をされると自分自身の理解の浅さを感じざるを得ませんでした。

「男女平等!」と頭の中で理解していたつもりでも、世の中にはいろいろなか所で矛盾が潜んでいるものです。

「男女共同参画」は、一朝一夕でできるとは思いません。でも、「男女共同参画」

私のように、幼少のときから父親が家の権力を握っていた家庭で育ってきた者にとっては、男女共同参画について、なかなか納得し

が少しでも進展するように、私たち大人が「男女平等」ということを念頭に置いて身の回りを見つめてみることは大切だと思っています。

